造血幹細胞移植
事業広報誌
バンク バンク

VOL.4

骨髄バンク・さい帯血バンクを身近なものに

BANK! BANK!

みんなでつなぐいのちのバトン

TOPICS

骨髄バンク☆46万5255の星

患者さん・ドナーさんの体験談、メッセージ

つながる「ありがとう」

BANK DE QUIZ

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

TOPICS

骨髄バンク☆46万5255※の星

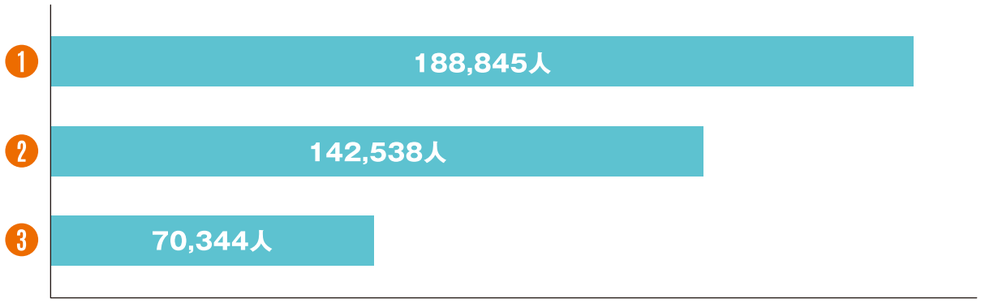
※2016年9月末時点のデータです。

「46万5255」という数字。何か分かりますか？ これは骨髄バンクのドナー登録者の数です。
白血病などの重い血液の病気の患者さんにとって、この「希望の星」はとっても心強い存在。
でも、患者さんの体に合うドナーが見つかっても、提供が実現するまでにはいくつものハードルがあり、
まだまだドナー登録者が必要です。本号では、知っているようで知らない「骨髄バンク」の実情をご紹介します。

BANK DE QUIZ クイズの答えを考えよう!

Q. 「骨髄バンクの年代別ドナー登録者数」を表すグラフで20代は❶～❸のうちどれでしょう？

2015年12月時点 ドナー登録者有効数 より



ドナー登録の流れ

骨髄・末梢血幹細胞の提供に関して理解したうえで、献血ルームなどに申込書を提出し、
白血球の型（HLA）を調べるための血液を採取。登録すると「ドナーカード」がもらえます。

※1 保健所などの登録窓口や、ドナー登録会でも申込・採血できます。　※2 登録窓口までの交通費は自己負担となります。

ドナー登録の条件

クイズの正解：❸（❶40代 ❷30代 ❸20代）

40代が最も多く、続いて30代、20代です。骨髄バンクのドナー登録には、18歳から54歳までという年齢制限があり、今年55歳の誕生日をむかえるドナー登録者は約2万人に達します。血液の病気と闘う患者さんの新しい「希望の星」になる若い力が必要です。

「骨髄バンク」「さい帯血バンク」って知ってる?

骨髄バンク・さい帯血バンクでは、白血病などの患者さんに血液を造る細胞（造血幹細胞）を分けてくれるドナーを募集しています。これだけ医療が進歩した現在でも、ドナーになってくれる方がいなければ、移植が必要な患者さんを助けることはできません。血液の病気と闘う患者さんの新しい「希望の星」になる若い力が必要です。

つながる「ありがとう」

実際に移植を受けた患者さんからの感謝のメッセージや、ドナーさんの体験談を集めました。

［骨髄移植を受けた］ 岡本 実奈美 さん

感謝のきもちを一生忘れず、これからも命を大切に生きていきます

再生不良性貧血と診断されたのが保育園（6歳）のときでした。2年ぐらい薬による治療を受けたのですが治らず、骨髄移植をすることに。4年間という長い闘病生活の中で沢山の「ありがとう」がありました。私の病気を治してくれた先生、看護師さん。私の面倒をみて、遊び相手をしてくださった病室のお姉さん、お母さん。「いくらお金がかかってもいいからこの子の命を助けてください」と言い、仕事をしながら、病院の通院や兄のお世話などをしていた両親。そして、骨髄を提供してくださったドナーの方。私を支えてくださった皆さんはもちろん、現在、ドナー登録をしてくださっている皆さんにも感謝の気持ちでいっぱいです。この命、本当に大切にしていきたいと思います。

［骨髄を2回提供した］ 小林 洋大 さん

簡単な血液採取で助けになれるならと登録

25歳くらいのとき、献血会場でボランティアの方に声をかけられたのがきっかけで骨髄バンクにドナー登録しました。5年後、「自分の骨髄を必要としている人がいる」というお知らせであるオレンジ色の封筒が届きました。このときは提供の直前で中止になりましたが、それから3年後に、再び「オレンジ封筒」が届きました。この時は自分が仕事等で悩んでいた頃で「今の自分にできるのかな」という思いもありました。それでもやはり「誰かの役に立ちたい」という気持ちが勝っていたので、提供に向けてコーディネートを開始しました。最初の健康診断は問題無く終わり、いよいよ家族も同席する最終同意面談で、父が突然の反対。前回も最終同意面談を経験していたので、今回も同意すると思っていた私は驚きました。コーディネーター・担当医からリスクも含めた説明が分かり易く、私も父も十分に理解したからこそ、父は私の状況を見て反対したのだと思います。面談の前に「それでも誰かの役に立ちたいんだ」という意志を十分伝えておくべきだったと反省しました。

その後、両親とも話し合い、全員納得のうえで、再度面談を行って同意、1回目の提供がついに実現。初めての入院、全身麻酔でしたが「役に立てる」という気持ちで、不安はかき消されてしまいました。苦痛というほどの痛みも自分は感じませんでした。

縁を持つことは患者さんもドナーも対等

提供を終えたときは、うれしい気持ちと患者さんによくなってほしい気持ち、そして、感謝の気持ちが強く湧いてきました。白血球の型という何万分の1の確率で合う細い糸が私と患者さんを繋げてくれた、その縁をいただけたことに対する感謝の気持ちです。たぶん、縁を持つということは患者さんもドナーも対等だと思うんです。

子どもの頃から健康だった私は、本などで見聞きしたレベルでしか命について考えることはありませんでした。それが提供を待つ間には、事あるごとに患者さんのことを思い、生まれて初めて「大きな病気をするとはどういうことか」を真剣に考え、改めて自分に向き合うきっかけにもなりました。そういう時間をいただけたのは、やはり提供という機会があったからこそなんです。

骨髄提供は自分にとっても大きな財産

今年の2月に、また「オレンジ封筒」が届き、今回は2回目の提供ということでスムーズに提供が実現しました。こうして2回、提供した今だから言えるのかもしれませんが、私はたまたま献血会場でボランティアの方と出会っただけのことで、決して特別なことではないと思います。でも、その「たまたま」の出会いを通して、自分の人生に深みを実感するようになったんです。命の尊さを実感してからは日々の些細なことに悩まなくなりました。そういう意味で、移植は患者さんのためだけでなく、自分にとってもかけがえのない、大きな財産になると思います。もしも3回目も誰かの役に立てるものなら、ぜひ協力したいと思いますが、今は2回までしかできない決まりなので、今後は献血で誰かの役に立ち続けたいと思っています。

小林さんの体験談をもっと見たい方はFacebookをチェック! BANK!BANKのバックナンバーも掲載! アクセス方法は裏面へ

マンガで学べる「骨髄バンク」

骨髄バンクって難しそう…。と思うあなたにはこの2冊のマンガ。
骨髄バンクや造血幹細胞などを分かりやすく解説しています。

デジタルパンフはこちらをチェック!

www.bmdc.jrc.or.jp/
bmdc 検索

「そうけつおかん」動画公開中!! Facebookをチェック!

つなげよう「ありがとう」

INFORMATION

「さい帯血バンク」豆知識 petit information

「さい帯血バンク」って何?

出産のときに、お母さんと赤ちゃんを結んでいたへその緒(さい帯)と胎盤の中に残った血液から、白血病などの患者さんへ移植する造血幹細胞を採取します。その保存と移植治療のために病院への提供を行うのが「さい帯血バンク」。いのちの誕生と同時に、誰かのいのちを救うことができる、赤ちゃんから患者さんへのいのちのおくりものです。

さい帯血バンクについて詳しく知りたい方は、前号「BANK!BANK!vol.3」の特集ページをチェック!
http://www.bmdc.jrc.or.jp/info/images/bankbank_03.pdf

《 さい帯血提供の一般的な流れ 》

骨髄ドナーの登録窓口やさい帯血の提供ができる産科病院はポータルサイトでチェック! QRコードからアクセスできます。

ポータルサイトでイベント&ボランティア情報をチェック!

骨髄バンク・さい帯血バンクポータルサイト「造血幹細胞移植情報サービス」

www.bmdc.jrc.or.jp/

bmdc 検索

ポータルサイトの「パンフレット図書」からバックナンバーも閲覧できます!

想いを言葉にかえて

ポータルサイトにある「つながるメッセージ」では「BANK!BANK!」を読んで考えたこと、感じたことなど、ご意見を募集しています。投稿された内容は、広報誌やWEBページ制作などの参考にさせていただきます。

EVENT INFORMATION

11月の代々木公園が銀世界に!?

「SNOW BANK PAY IT FORWARD2016」

開催期間:11/12日(土)・13日(日)　場所:代々木公園

プロスノーボードライディングショーやそりゲレンデ、そしてダンスを楽しみながら「献血と骨髄バンク」を知るイベントです。12日(土)は原千晶さん、13日(日)はGAKU-MCさんとDAZEさんのトークショーが開催。その他、プレゼント企画や体験イベントも楽しめます! ※イベント内容は変更する場合がございます。

雪を降らせる費用として「雪主」を募集しています。一口 2,000円からの寄付で代々木公園に雪を降らせませんか?「雪主募集」の情報など、イベントの詳細はホームページをチェック!

スノーバンク 検索

※画像はイメージです。

Facebookページでクイズや最新情報をチェック!

BANK!BANK! Facebookページ

bankbank.jrc

※画像はイメージです。

日本赤十字社

患者さんに適合する「さい帯血」や「骨髄」をインターネットでいつでも探すことができるように、「さい帯血」や「骨髄ドナー登録者」の情報の管理や必要な検査を行っています。

骨髄バンクへの関わり

全国の献血会場でドナー登録の受付や、パンフレットなどによる普及活動をしています。

さい帯血バンクへの関わり

全国6つのさい帯血バンクの運営をサポートしています。さい帯血の品質を向上させるための研修や、さい帯血バンクを知ってもらうための普及活動をしています。

BANK! BANK! とは

2つのバンク【骨髄バンク・さい帯血バンク】の理解を深めるための広報誌。
全国から集まったメンバーが制作に参加し、毎号異なるテーマをわかりやすく解説。
骨髄・さい帯血に含まれる造血幹細胞(血液を造る細胞)を、より多くの患者さんに安全に届けることを目指して活動しています。

次回のBANK! BANK!

一致する割合が、造血幹細胞移植の可否を左右する「HLA型」。1月発行予定の次号は、ちょっと難しいこの「型」のハナシを分かりやすく丁寧にお届けします!

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society

発行

日本赤十字社 血液事業本部 技術部 造血幹細胞管理課
〒105-0011 東京都港区芝公園1-2-1 ☎03-3437-7205

[平成28年10月発行]